

東日本大震災の大津波で漁船用給油タンクの大半が流失した気仙沼港で待望の新燃料基地が完成し、先ごろ竣工式が行われた。地元の気仙沼商会(高橋正樹社長・出光昭シ系)が建設した油槽所の竣工式が採用され、大津波を受けても破壊・流失を防ぐ構造。同社関係者は海上給油を手がける燃料各社や全漁連への安定供給に努め、全国トップの水揚げを誇る同港を盛り上げていいことを誓った。(一部既報)

宮城・気仙沼商会 タンクは「対津波仕様」採用



気仙沼商会氣仙沼油槽所の竣工式が先ごろ現地で行われ、関係者20人余りが新しい燃料基地の完成を祝った。

高橋正樹社長はあいさつで「東日本大震災で大きな被害を受けた直後、氣仙沼の漁業・水産関係者が集まつた最初の会議で、皆が6ヶ月の力安定期に努め、船主や水産業者とともに氣仙沼を盛り上げていきたらい」と語った。

来賓あいさつで菅原茂氣仙沼市長

竣工式でありあざつする高橋市長

完成した氣仙沼油槽所



高い防波壁の外に造られた
給油桟橋

氣仙沼油槽所は、燃料タンク(9基)を備え、平成25年3月に完成した。この春運用が始まつた新氣仙沼市魚市場の近くの土地で市がかさ上げし、高さ10m近づいた方平方が余りの用地に建設された。バ

い」と語った。市側が燃料基地用地の貸付先を公募するに

当たつて求めた第1回競争条件は「どんな津波に耐えるか、浮力を確保する」ということだ。港周辺には構造だ。

構造が衝突するに力をなくすため、構造が衝突するに力をなくすため

船や構造物が衝突するに力をなくすため

気仙沼商は高橋社長を中心とし専門業者ら

に相談して工法を模索

た結果、燃料タンクに衝撃を和らげる緩衝材を巻き付け、さら

に被りてもタンクの破壊される堅固な構造だ。

気仙沼商は高橋社長を中心とし専門業者ら

に被りてもタンクの破壘される堅固な構造だ。

気仙沼商は高橋社長を中心とし専門業者ら

に



SSの将来像を模索

6月13日に千葉市の幕張メッセ「イベントホール」で開催された「千葉SSビジネス見本市」は、会場の面積、出展者数、来場者数のすべてにおいて、見本市史上最大規模となった（既報）。その一方で新規出展は19社に及び、しかもその顔ぶれはコンビニFCからWi-Fi自販機、併設型ストレッチ専門

店まで多種多様。SS業界としては過去に例を見ない展示会だったといえる。会場は2200人を超える来場者で終日熱気に満ち溢れ、会場のそこそこでSSの将来像を巡る具体的かつ機知に富んだ情報交換が活発に行われた。「千葉SSビジネス見本市」を新規出展ブースを中心に、改めてグラフで振り返る。



TATSUNO

日々のメンテナンスで 品質を保持

巡回点検で安全・安心のご提供
全国約80ヶ所のネットワークで充実のサポート
24時間体制でトラブルに古迅速に対応するサポートセンター

いつもご愛顧いただいている
製品機器もしっかりメンテナンスいたします。
メンテのプロであるマイスター制度で品質をしっかり維持いたします。